

JENESYS2020 日ラオス・オンライン交流 (農山漁村)の記録

1. 概要

【目的】ラオスの青年が日本の農村を訪れ、生産現場を視察するとともに、農協や加工ビジネスに取り組む生産者等と交流することにより、日本の先進的な取り組みや技術に関する理解を深めることを主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】 ラオスの専門学校生、大学生、大学院生および農業政策に従事する行政官等 計 47 名

【訪問地】 三重県、東京都、沖縄県、長野県

【日程】

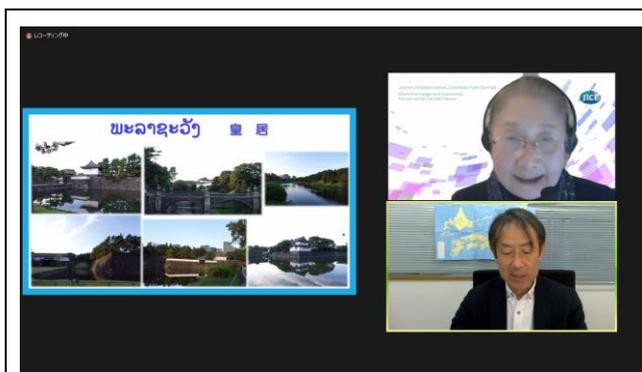
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下 2 日間の参加人数：42 名		
2021 年 6 月 2 日 三重県伊 勢市	(他のプログラムと合同実施) 【ウェビナー・質疑応答】 1. 講義、質疑応答 「ラオスと伊勢市の交流」 講師：伊勢市情報戦略局企画調整課 シティプロモーション係 主幹兼係 長 山下 智也氏 2. 講義、質疑応答 「農業漁業の取り組み」 講師：伊勢市産業観光部農林水産課 農業振興係 係長 山中 強氏、伊勢 市産業観光部農林水産課水産係 主幹 兼係長 中西 健氏	農水産品が特産品として有名な伊勢市から、ラオスでも採れる海苔や貝、野菜等を、市外・海外へどのように PR し販売しているか、担い手不足や環境問題による特産品の減少にどのような対策をしているか紹介がありました。ラオスの参加者からは、「身近なメコン川でも採れる海苔の PR 方法や環境保護について伊勢市から学ぶことができ、ラオスの発展にとって大変有益な講義だった」との声がありました。
2021 年 6 月 28 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 1. 日本の農業の概要、日本の食品産業、農業を支える団体に関する講義 「日本の農業政策について」 講師：農林水産省経営局就農・女性課 課長補佐 伊藤 直樹氏 2. 質疑応答	農産品の付加価値のつけ方、食品の品質基準の監理方法、農地利用・運用等について多くの質問がありました。熱心にメモを取る参加者の姿も見られ、積極的に質問がなされました。講師からも一つ一つの質問に回答が出され、農業分野に関心のある参加者にとって有意義な時間となりました。

以下 6 日間の参加人数：5 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 2 月 10 日 ～	【動画視聴】 1. ホームビジット体験 2. 南三陸町からのメッセージ 3. 白馬の農業	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 2 月 16 日 東京都	【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】 1. オリエンテーション（グループ別） 2. 講義・質疑応答 「日本の魅力」 講師：千葉大学国際未来教育基幹 教授 織田 雄一氏 3. ラオスの JDS 留学生*のプレゼンテーション 「日本生活紹介」 広島大学 ニアヴーイエワン氏 4. グループ別交流 <small>*人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship：通称 JDS）：政府の「留学生受入 10 万人計画」の下、実施されている無償資金協力による留学生受入事業。</small>	講義では、地理、文化、宗教、教育、先端技術などの日本の基本情報を中心に紹介しました。参加者からは、「中高の教育制度の違い」「家庭での教育」「日本の英語教育」等、日本の教育制度について多くの質問がありました。ラオスの JDS 留学生のプレゼンテーションは、自己紹介から始まり、日本での生活体験や印象、JDS 生とのイベントなど日本での生活を紹介していただきました。最後にグループに分かれ、最終報告会に向けての役割決めを行いました。
2022 年 2 月 17 日 沖縄県読谷村	【ホームビジット、交流】 訪問先：沖縄県読谷村 1. 読谷村の紹介 2. バーチャルシュノーケリング 3. ホームビジット体験、交流 4. 写真撮影	内陸国であるラオスの参加者は、シュノーケリングの動画を観た際、海の中の生き物を見て感動していました。また、環境を守るため海岸で毎月ゴミを拾う活動があることを知り、関心を持ったようでした。ホームビジットでは、沖縄の伝統衣装や沖縄料理等の紹介に興味津々の様子でした。またラオスの参加者は自宅の様子を紹介する等して、積極的に交流をしていました。お互いに実際に訪れることができた場合、どのようなお土産が喜ばれるか質問し合っているグループもありました。
2022 年 2 月 18 日 長野県白馬村	【自治体訪問、交流】 訪問先：長野県白馬村 1. 白馬村のスキー場からの中継、滑走体験 2. 白馬村の概要、白馬村の農業と観光に	参加者はスキー場からの中継に驚き、また観光業や農業についての紹介に対しては、熱帯の国ラオスとは気候的背景が異なるため、興味深く捉えていた様子でした。「夏の観光について」「民宿に宿泊するときの

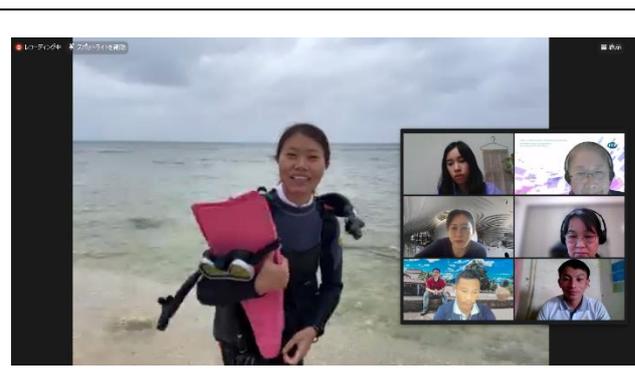
	<p>ついで紹介</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 写真撮影</p>	<p>ルールについて」「雪の中での野菜の収穫は重労働ですがコストがかかるのでは？」等、参加者から多くの質問がありました。</p>
<p>2022年 2月21日 東京都</p>	<p>【ワークショップ】</p> <p>1. プログラムの振り返り</p> <p>2. アクション・プラン策定、発表準備</p>	<p>プログラム全体を通しての学びから、グループに分かれてアクション・プランを策定し、報告会に向けて発表の準備を行いました。</p>
<p>2022年 2月22日 東京都</p>	<p>【報告会】</p> <p>1. 参加者による発表</p> <p>2. 講評</p>	<p>プログラム後3か月以内に実施するアクション・プランについて英語と日本語で発表しました。日本について幅広い対象に発信する独創的なプランがいくつも提案されました。</p>

2. 記録写真

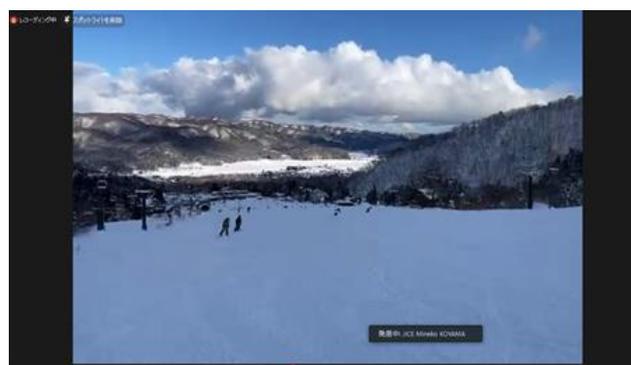
	
<p>2021年6月2日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子</p>	<p>2021年6月2日【ウェビナー・質疑応答】集合写真</p>
	
<p>2021年6月28日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子</p>	<p>2021年6月28日【ウェビナー・質疑応答】集合写真</p>



2022年2月16日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子



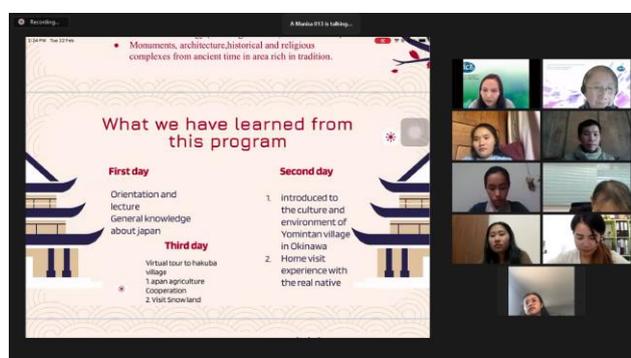
2022年2月17日【ホームビジット、交流】読谷村の紹介



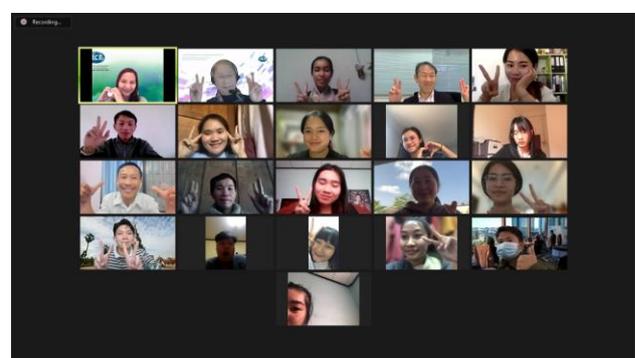
2022年2月18日【自治体訪問、交流】白馬村でのスキー体験



2022年2月18日【自治体訪問、交流】白馬村の付加価値の高い農業の紹介



2022年2月22日【報告会】アクション・プランの発表



2022年2月22日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 参加大学生

とても興味深いプログラムで、伊勢の農業、漁業、観光などについて知ることができました。機会があれば伊勢市に行ってみたいと思いました。

◆ 参加大学生

今の日本をもっと知ることができるいい機会でした。伊勢の親切な人たちとの出会いに感謝してい

ます。早く直接お会いできるのを楽しみにしています。

◆ 参加大学生

日本の農業の現状について 教えていただき、ありがとうございました。これからのラオスの農業にとって参考になる情報がたくさんあったと思います。

◆ 参加社会人

日本についての知識が高まりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

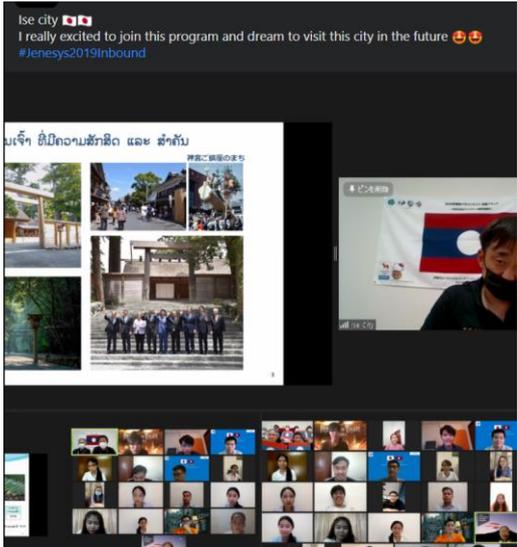
◆ 受入れ自治体

たくさんご質問いただいたことや、伊勢に行きたいという嬉しいお声もいただき、参加者の皆様の熱意が伝わってきました。また、ホストタウンをきっかけとした今後の国際交流の促進につながる、貴重な機会になったものと思います。来日が実現したらぜひ伊勢市にもお越しいただきたいです。

◆ 協力団体

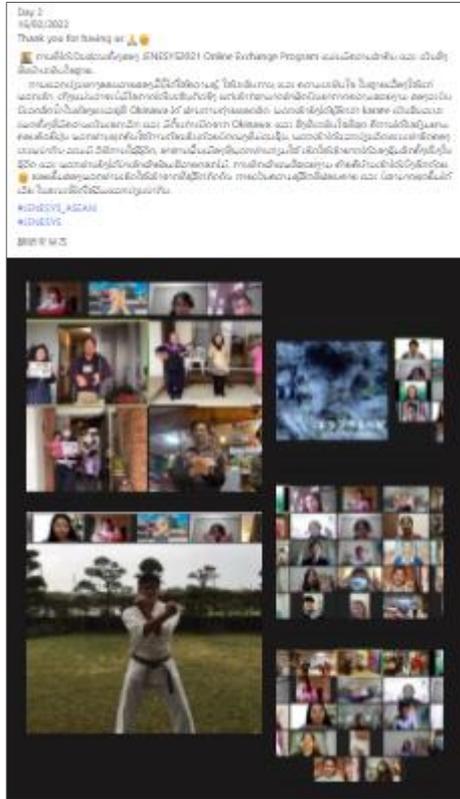
準備段階から、ラオスについてさまざまな文化や歴史などの情報を受け入れ家庭のみなさんと共有することで、今まで意識してこなかったラオスに関する現在の情報も得ることができました。受け入れ家庭の親族がラオスに滞在していた話にもつながり、国際交流の良いきっかけをいただきました。オンライン交流時もラオスからの参加者から、積極的に自国の食べ物や建築などの紹介もいただきました。

5. 参加者の対外発信

 <p>6月2日 · 🌐</p> <p>ໂຄງການ JENESYS 2020 ກິດຈະກຳທາງອອນລາຍໄດ້ຈັດຂຶ້ນເພື່ອແນໃສ່ ການລົງເລິກເຖິງຄວາມເຊື່ອໃຈ ແລະ ຄວາມເຂົ້າໃຈເຊິ່ງກັນ ແລະ ກັນ ລະຫວ່າງໄວໜຸ່ມຍີ່ປຸ່ນ ແລະ ລາວ ເພື່ອສ້າງເພື່ອມິດຕະພາບ ແລະ ການ ຮ່ວມມືໃນອະນາຄົດ !!</p> <p>ຜູ້ເຂົ້າຮ່ວມໄດ້ມາຄົ້ນຫາຄວາມດຶງດູດຂອງເມືອງ Ise City ໃນແຂວງ Mie, ເຊິ່ງແມ່ນເມືອງເຈົ້າພາບສຳລັບສປປລາວ ໃນການແຂ່ງຂັນກິລາໂອລິມປິກ ໂຕກຽວ.</p> <p>翻訳を見る</p> <p>添付を表示</p>	 <p>Ise city 🇯🇵🇹🇼 I really excited to join this program and dream to visit this city in the future 🥰🥰 #Jenesys2019Inbound</p> <p>ເມເຈົ້າ ທີ່ມີຄວາມສຳຄັນ ແລະ ສຳຄັນ</p> <p>2021年6月2日 (Facebook)</p>
<p>2021年6月2日 (Facebook) JENESYS 2020 友情と未来に繋ぐ協力を作るた</p>	<p>2021年6月2日 (Facebook) 伊勢市のホストタウンウェビナーに参加し、わ</p>

め、日本の青年とラオスの間で信頼と理解を深めるために主催されたオンライン活動！！
東京オリンピック競技大会において、ラオスのホストタウンである三重県伊勢市の魅力を探しに参加しました。

くわくしました。いつか訪れたいと思います。



2022年2月17日（Facebook）
JENESYS オンライン交流プログラムへの参加はとても意義があり、大変印象に残りました。今日のオンライン交流でも、多くの知識、経験、感動を得ることができました。実際に本物に触れられなくとも、沖縄の海洋生態系の美しさをライブで体験することができましたし、空手が、沖縄発祥の独自の武道であることを知りました。
そして、最も印象に残ったのは、日本の家庭を訪問したことです。とても楽しい歌で迎えられ、ライフスタイルを含む伝統文化を共有いただきました。伝統的な食べ物も準備いただき、一生に一度は味見をしてみたいと思いました。また、美しい花柄の染め物や独自の織物は、私達の国の布とよく似ていました。

2022年2月20日（Facebook）
冬の「雪に覆われた」山々と夏の自然が美しい街、白馬を（オンラインにて）訪れることができ感謝します。この交流プログラムに参加する前は、白馬がこんなに魅力的で美しい村だとは知りませんでした。この経験を通して、白馬は、私たちが将来訪れたい一つの村になりました。この村で私たちは、その素晴らしい並外れた農業に注目しました。寒く豪雪地域でありながら、効率よく野菜を栽培し、甘みのある村独自の栽培方法を見つけていたのです。根菜類、例えば、人参や大根、また、キャベツを栽培、リンゴも栽培しています。夏には米、ワサビも栽培しています。
この街を訪れる機会があれば、まず地元の食材であるわさびを使ったワサビアイスクリームを

皆さんの笑顔で、ストレスから解放されとてもリラックスできました。話をしている間は、本当に笑顔が止まりませんでした。

試してみましよう。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表



ວິທີການປູກຕົ້ນຕົ້ນມູນຄ່າ, ການດູແລະອັກສາ, ການດົບກຸ້ວ ແລະ ສິດສັງຄົມກະສາດວາມສິດໃຫ້ໂຕ້ຮຽນທີ່ສຸດ

HOW : ຕິດຕໍ່ຕາມ Facebook

<https://www.facebook.com/groups/1324818304683144/>

■ 実施理由 :

白馬での農業の取り組みを参考に、安定した作物栽培を広めます。

■ 実施期間 : 2022 年 3 月~6 月

■ 実施方法 :

育てる野菜に付加価値を付け、他の地域と差別化するにはどうすればよいのか、作物の栽培方法と研究のテクニックを Facebook で紹介します。

実施団体名 : 一般財団法人日本国際協力センター (JICE)